

2022年1月17日

各位

iHeart Japan 株式会社

厚生労働省から「JHVS2021 Venture Award」を受賞

再生医療を“特別な治療”から“当たり前の治療”にする iHeart Japan 株式会社（本社：京都市、代表者：角田健治、以下では「当社」）は、厚生労働省が主催する「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット 2021」において、JHVS2021 Venture Award を受賞いたしましたことお知らせします。

その表彰式および受賞者ピッチが令和4年2月3日（木）～4日（金）に開かれる「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット 2021 シンポジウム」において催されます。現地とオンラインのハイブリッド形式で開催されますので、お気軽にご参加くださるよう、お願いします。詳しくはこのウェブページをご覧ください <https://www.jhvs2021.jp/symposium.html>（参加申込締切：2022年1月27日）。

**【JHVS2021 Venture Award】**

ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット 2021 にて、特に優れたピッチを行ったベンチャー企業7社を表彰。医薬品、医療機器、再生医療等製品の実用化に結びつくことが期待されるシーズを有するベンチャー企業、アカデミア、個人等のうち、実用化の可能性、シーズのポテンシャル、プレゼン技術等を総合的に判断し、将来性があると考えられるベンチャー企業に与えられる。（※厚生労働省ウェブページから引用、一部改変）

**【iHeart Japan 株式会社について】**

当社は、2013年に設立されて以来、iPS細胞から分化させた心臓や血管などの細胞から成る多層体（以下では「IHJ-301」）を拡張型心筋症や虚血性心筋症による重症心不全の治療に役立てるべく、再生医療等製品の開発に取り組んでおり、国立大学法人京都大学、国立大学法人東京大学などと連携しながら、IHJ-301の開発をしています。

<http://www.iheartjapan.jp/>

**【IHJ-301 について】**

健常ドナーの細胞から作製した iPS 細胞から分化させた心臓や血管などの細胞を培養加工した薄膜の層とゼラチンハイドロゲル粒子の層から成る心血管系細胞多層体です。肋骨の間を切開して移植するという比較的低侵襲な手術で心臓に移植することを想定しています。

**問い合わせ先**

iHeart Japan 株式会社 事業部 広報担当

[info@iheartjapan.jp](mailto:info@iheartjapan.jp)